

平成26年6月12日

特定非営利活動法人  
千葉大学環境ISO学生委員会  
文責：山田優志

## “K” LINE の森 猿待塚植樹活動 実施報告書

### 1. 目的・概要

当事業の目的は、生物多様性の保全、良好な景観の形成、環境意識の啓発である。また、これからの植樹の実施に向けて、植樹へスタッフとして参加させていただくことで植樹に対するノウハウや知識などを学ぶ。里山プロジェクトについて、特定非営利活動法人 千葉大学環境 ISO 学生委員会と株式会社川崎汽船は、川崎汽船が保有する千葉県 成田国際空港近隣の遊休地において協働で里山保全活動を実施するため、2012年10月に「“K” LINE の森 猿待塚 里山活動協定書」を締結した。千葉県里山条例（2003年制定）に基づく里山活動協定及び森林整備によるCO<sub>2</sub>吸収量について2013年2月5日、千葉県から認定書の交付を受けた。主に、その場所では竹林の伐採や木の間伐、植樹、きのこの栽培、環境教育活動を行なっている。

### 2. 実施概要

“K” LINE の森 猿待塚・里山ボランティア

場所：“K” LINE の森 猿待塚

実施日時：2014年5月17日(土) 10時30分～15時

参加者数：大人51名、子ども3名

要旨：

- ・里山自然教室 里山や植物に関する豆知識を話したり、クイズを実施したりした。
- ・植樹 広葉樹の森を再生するために、コナラの苗木を30本植樹した。
- ・整備 下草刈りと竹林の間伐の方法を指導し、整備を行った。



活動の様子

### 3. 所見

今回の活動は参加者の人数が過去最高で、インド人の方や株式会社川崎汽船の子会社の社員の方なども参加していた。里山自然教室は大人数の参加者に伝えやすいように2グループに分けて実施した。2つのグループで内容が異なったものになったが、どちらの内容も充実しており、好評であった。

また、今までの活動では里山自然教室と下草刈りの整備が中心であったが、コナラの植樹や竹の間伐、昼食の炊き出しなど新しい取り組みもあり、参加者により楽しんでもらい様々な方と交流ができたと感じる。

今後の展望として、海外の方にもしっかりした説明をできるようにし、里山自然教室の内容をより充実させたものにしていきたい。